RDM Drive利用マニュアル(プロジェクト管理者向け)

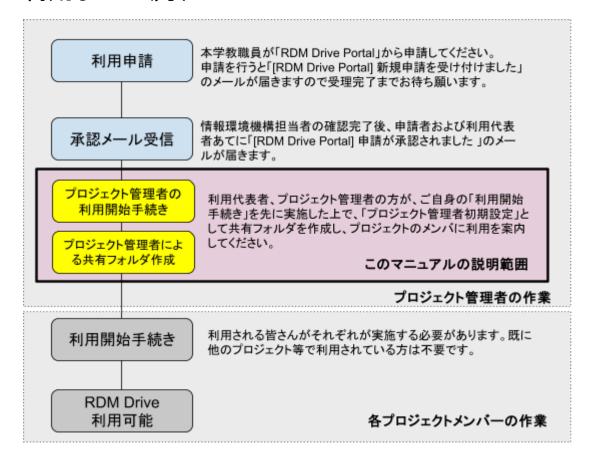
目次

目次目	1
用語の説明/Explanation of Terms	1
利用までの流れ	2
プロジェクト管理者の利用開始手続き	
プロジェクト管理者による共有フォルダの作成	4
(参考)共有を受けた側での見え方	
(オプション)研究プロジェクトのメンバーに含まれる個人に共有設定する場合	5
RDM Drive Portal の管理者向け機能	6
使用容量の確認	6

用語の説明/Explanation of Terms

	名称	役割	備考
1	申請者	申請手続きを実施する利用代表 者本人または利用代表者の指示 で事務手続きを代行される方	SPS-IDを保持している本学 教職員1名のみ
2	利用代表者	プロジェクト管理者の中で、当該 の利用について代表される方	SPS-IDを保持している本学の教職員(研究者)1名のみ
3	プロジェクト管理者(本マニュアルの対象者)	各プロジェクトの管理(設定変更、 メンバーの追加・削除など)ができ る。	SPS-IDを保持している本学の教職員(研究者)複数名指定可能
4	プロジェクトメンバー	サービスを利用可能	本学構成員(教職員、学生)、学外の共同研究者等複数名指定可能

利用までの流れ



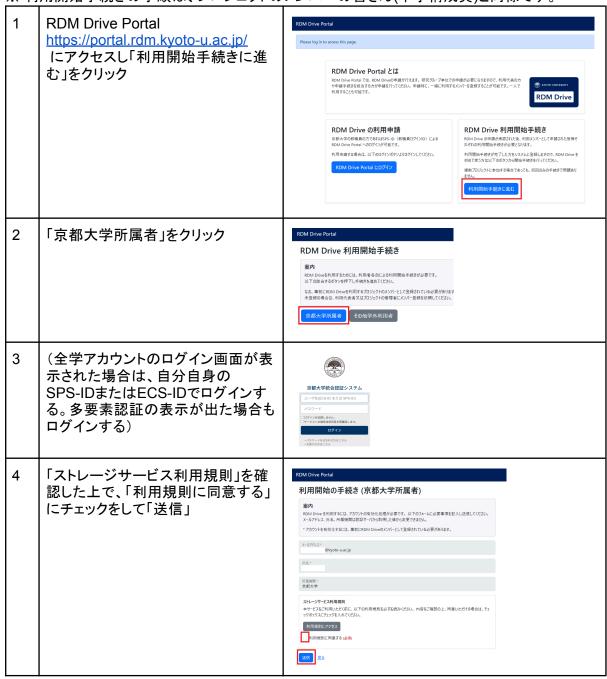
- RDM Drive Portal: https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/
- 本マニュアルでは、プロジェクト管理者の方に実施いただく「プロジェクト管理者の利用開始を表表します。
- プロジェクトメンバー向けのマニュアルは以下で公開しています。 https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/storage/rdmdrive/manual.pdf

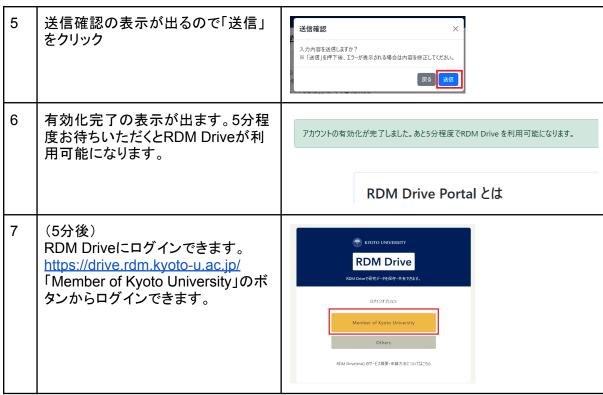
プロジェクト管理者の利用開始手続き

プロジェクトメンバーは、プロジェクト管理者が共有フォルダの設定を実施しないと、プロジェクトの領域を使用することができません。そのため、先ずはプロジェクト管理者(利用代表者は自動で含まれます)の方の利用開始手続きを行っていただく必要があります。

なお、既に他のプロジェクトでRDM Driveを使用されている場合は、利用開始手続きは不要です。

※ 利用開始手続きの手順は、プロジェクトのメンバーの皆さん(本学構成員)と同様です。





5分お待ちいただいた後、引き続き、「プロジェクト管理者初期設定」へ進んでください。

プロジェクト管理者による共有フォルダの作成

ここでは、最も基本的な使用方法として、プロジェクトメンバー全員で共有する共有フォルダを作成する手順を説明します。

なお、プロジェクトメンバー全員ではなく、個別に共有することも可能ですが、設定に際しては事前にそれぞれのメンバーが「利用開始手続き」を完了している必要があります。





(参考)共有を受けた側での見え方



(オプション)研究プロジェクトのメンバーに含まれる個人に共有設定する場合

事前にそれぞれのメンバーが「利用開始手続き」を完了している場合は、個人に共有設定することも可能です。





RDM Drive Portal の管理者向け機能

使用容量の確認

使用中の容量はRDM Drive https://drive.rdm.kyoto-u.ac.jp/ で確認できますが、本サービスでは、バージョニング機能を使用しているため、上記画面で表示される容量より、実際の保管容量は大きくなります。(容量の差異はファイルの更新の状況によります)



実際の保管容量は、RDM Drive Portal https://portal.rdm.kyoto-u.ac.jp/ で、プロジェクト管理者およびSPS-ID(教職員アカウント)をお持ちのプロジェクトメンバーの方がご確認いただけます。(「サービス一覧」で当該サービスのサービスIDをクリックしてください。)



申請履歴

このマニュアルを読んでも分からないことがある場合は

まずは、

- 情報環境機構の案内ページ https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/storage/rdmdrive
- FAQ https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/storage/faq

をご確認ください。

上記で解決できない場合は、サービスID(「rd」ではじまる7文字)を明記の上、

● お問い合わせフォーム
https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/inquiry?q=whs
※お問い合わせ種別は、「ホスティング」を選択した上を選択した上で、お問い合わせタイトルに [RDM Drive] を含めるようにしてください。

でお問い合わせください。